

むらやま 議会だより



写真／ふたば袖崎保育園クリスマス会にて

もくじ

- ◎新春対談…………… P 2～3
- ◎10月臨時会、12月定例会…………… P 4
- ◎代表質問…………… P 5
- ◎一般質問…………… P 6～9
- ◎議会活動…………… P 10～11
- ◎市民の声…………… P 12



←携帯からはコチラ

2021



新春対談

～対談者の紹介～

左から 佐藤 翔^{かける}さん (楯岡在住)
 齋藤 未^{みく}来^くさん (白鳥在住)
 末永 玲^{れお}於^おさん (大槇在住)



新年あけましておめでとうございます。
 議長公室において、
 村山市在住の学生と議
 会だより編集委員会の
 石澤委員長、犬飼副委
 員長による新春対談を
 行いました。
 緊張の中にも若々し
 い意見が出されました。
 本日はありがとうございます。
 大学生の率直な意見をお聞かせ
 ください。

自己紹介をお願いします

(末永) 10月中旬に東京から大槇に引っ越してきた。大雪にびっくり。出身地の富山でもそんなに降らないし、こんなに短期間で降ったのははじめて。今日は、サングリアワインの果実漬けを作ってきた。たくさんリングを頂いたので。
 (齋藤) 宮下在住で、蔵王にある学校に通っている。暮点温泉が好きで、毎回通いたいと感じる。
 (佐藤) 笛田に住んでいる。今は、コロナ禍もあって、リモート学習をしている。

村山市に住んで

(末永) 村山市に来て思ったことは、いろんな方々にお世話になってみて、馴染みや早く心あたった人が多いと感じる。飯も美味しい。果物もうまい。地元にも商店もあり魚もうまい。
 (佐藤) 暮点温泉、東

沢バラ公園など、都会からみると少ないかもしれないが、誇れるところははある。文化的にも住みやすい。

村山に足りないもの、こんなことがあったらいいなはあるか？



(末永) 足りないからこそ。都会と比べるといろいろ施設とか確かに足りない部分は多いかもしれないが、そういった余白や足りないことがあるから面白いと感じる。
 その足りない部分を埋める目的でゼロからいろいろ考えることができ、それが面白いと最近感じる。足りないことをそんなにネガティブに捉えることはないと感じている。
 (副委員長) よく程よい田舎と言うが、そう

いう感じかな。そんなに田舎ではない。無い事に新鮮味を感じている？

(末永) すごく楽しい。(副委員長) 市民はいろんなことを求めすぎているのかもしれない。やはり他と比べて、特に近隣の東根などにはすごく憧れている部分もあるのだろうと。

(末永) 足りないのであれば、みんなで立ち上げて作ろうとか。(齋藤) 今は車を運転しているから、感じないが、山形市の高校に通っていたときは、駅まで車で15分かかってた。親に送迎してもらっててありがたいな、申し訳ないなと思うのと同時に不便だなと感じている部分があった。

雪についてどう思う？

(佐藤) 大高根などに比べれば多くないが、やはり多い。東沢に向かう途中で消雪道路が切れている。経済的な

面もあると思うが、押しボタン信号より東に行く道がガタガタであと捨てる場所が無い。ひとの畑に捨てるわけにもいかないため、どうしようもない。というところで、もう少し消雪道路があった方がいい。除雪車も作業範囲が広すぎてカバーしきれないと思う。

村山市の良いところは？

(佐藤) すごく良い所だと思う。正直ずっと住んでいたいと思う。東根に住むとなると、人が多すぎる部分もあり、村山がやはりちょうどいい田舎と感じる。自分に合っている。

10月臨時議会 議決結果報告

10月21日に臨時議会が開催され、一般会計補正予算は、歳入歳出4億6159万円を追加し、総額184億9765万円で可決しました。

7月豪雨の復旧事業やお宿でゆったりプレミアム商品券事業にかかわるものであります。

主な補正項目

- ・ 新生児子育て特別応援事業 904万円
- ・ お宿でゆったりプレミアム商品券事業 3138万円
- ・ 予防接種事業 17万円
- ・ 農業施設災害復旧事業 1億8800万円
- ・ 公共土木施設災害復旧事業 900万円
- （道路橋りょう）
- （河川） 2億2100万円

12月定例会 議決結果報告

11月30日から12月15日の会期で12月定例会が開催され、一般会計補正予算及び特別会計補正予算5件、条例6件、財産の取得について1件、指定管理者の指定について7件が原案のとおり可決されました。その結果、一般会計歳入歳出それぞれ4億4696万円を追加し、総額189億3772万円となりました。

条例等

- ・ 村山市中小企業緊急融資支援基金条例 (全会一致で可決)
- ・ 村山市特別職に属する者の給与等に関する条例の一部を改正する条例 (全会一致で可決)
- ・ 村山市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 (全会一致で可決)
- ・ 村山市市税条例の一部を改正する条例 (全会一致で可決)
- ・ 村山市市税条例の一部を改正する条例 (全会一致で可決)
- ・ 村山市税外収入に係る督促及び延滞金に関する条例の一部を改正する条例 (全会一致で可決)
- ・ 村山市公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例 (全会一致で可決)

その他

- ◎ 財産の取得について
村山市小中学校学習用コンピュータ等機器 (全会一致で可決)
- ◎ 村山市指定管理者の指定について
村山市基点レクリエー

主な補正項目

- ・ ションセンター「クアハウス基点」
一般財団法人村山市余暇開発公社
- ・ 村山市戸沢保育園
社会福祉法人敬愛信の会
- ・ 村山市基点リバーサイド地区交流促進施設
特定非営利活動法人村山蕎麦の会
- ・ 村山市故里交流施設「道の駅むらやま」
一般財団法人村山市余暇開発公社
- ・ 村山市ふるさとふれあい学習館
一般社団法人村山市観光物産協会
- ・ バラ交流館
一般社団法人村山市観光物産協会
- （全会一致で可決）
・ 村山市スポーツ施設ワークエージェント株式会社 (賛成多数で可決)
- ・ 金推進事業
ふるさとづくり応援寄附金 1億1090万円
- ・ ふるさとづくり基金積立金 2億7087万円

むらやま人の流れ創出事業 750万円

余暇開発施設整備事業 450万円

ひとり親世帯応援金支給事業 463万円

除雪事業 7500万円

農作物消費拡大事業 1千万円

請願

障がい児通園及び通所支援事業 654万円

児童遊戯施設整備事業 820万円

豪雨等災害復旧支援事業 370万円

ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業 1072万円

議員発議

国に対し「消費税を5%以下への引き下げを求める意見書」の提出を求める請願について (可否同数のため議長裁決により不採択)

誹謗中傷をなくし新型コロナウイルス感染症の克服を目指す決議 (全会一致で可決)

各会計補正額

(単位：千円)

会計	補正額	補正後の額
一般会計	446,964	18,937,729
特別会計		
国民健康保険事業	△1,781	2,642,263
介護保険事業	1,790	3,080,273
下水道事業会計		
事業収益 (収入)	△256	865,936
事業費用 (支出)	△256	722,720



細矢 清隆

鳥獣被害が多発・

実情を踏まえ早急な対策

答弁 県の対応指針に

合わせて行動する

Q 里山や市街地に頻りに出没する事が目立つ、人身被害が懸念されるが万全な対策について伺う。

A 目撃情報については、市民環境課と農林課が一体となり、関係機関へ情報提供を行なっている。

Q 小中学校の通学時に対応できる対策として考えられる事は。

A 対策としては熊鈴を所持するなど検討していきたい。

Q 電気柵の設置に対し補助金の増額と事務の簡



11月1日に捕獲した熊(約80kgオス)

素化について伺う。

A 設置の補助金は県と市で1/2で上限が20万円である。来年度の要望が15件あり、県と対応しながら進めていく。

Q 事務の簡素化についても検討していく。

A 県内初となるジビエ工食肉処理施設と料理の提供事業につ

て伺う。

A 処理加工施設建設を望む声は、近隣市町村より出ている。処理施設についてはハードルが高く、大変難しい。

その他の質問
・学校の働き方改革と部活動改革について



吉田 創

消防団員報酬を増額するべきだ

答弁 厳しい財政だが、検討していく

Q 近年多発する自然災害。毎年増加している救急出動。そして新型コロナウイルス感染症など。消防体制への業務が複雑かつ業務量が多くなっている。村山市の消防職員は現在44名。村山市消防団員数は753名。今後の消防力・防災力を考慮したとき、現体制で村山市の消防体制を維持出来るのか。今後の体制づくりをどう考えているか。

A 消防職員増を要望しているが、財政的な課題で実現していない。消防団員の確保に、大変苦労している。今後、災害対応時のみの機能別消防団員などの、機構改革を検討している。

Q 消防の広域化に賛成との事だが、令和2年6月以降進展は

あるのか。

A 進展はない。

Q 今後消防職員44名体制でいくのか。増員する考えはないか。

A 消防職員の増員は今のところ考えていない。

Q 消防は、地域における消防・防災のリーダーとして、平時・非常時を問わず、地域に密着し、市民の安心・安全を守る重要な役割を担う。消防団員確保のため、行政として処遇の改善が必要と考える。



7月豪雨災害時 救助活動をする消防職員



阿部 正任

クマやイノシシの目撃が急増する中、対策は

答弁 補助や支援を含め検討する

Q 今年クマの目撃、イノシシによる農地、作物への被害が急増している。近年の目撃、捕獲頭数、農作物への被害額はどのようになっているか。

A クマ、イノシシの出没、目撃は今年急増した。クマの捕獲も昨年4頭から今年は11頭と増えた。イノシシも鳥獣被害防止計画の見直しを行い、捕獲目標を倍増する。被害額についてはサルなどによる被害が減ったことで減少している。しかし、見えていない被害もあると思われる。注視していく。

Q 鳥獣捕獲には猟友会の力が必要だと思われるが、猟友会員も高齢化が進んでいる。若い人を含め、なり手確保の対策が必要ではないか。



イノシシの掘り起こし被害にあったほ場

A 狩猟免許等取得に關し、市としては補助金制度を設けている。今年女性、若者を含め昨年の倍にあたる8名が取得した。

Q かつては、棲み分けにより共存していた動物たちである。捕獲だけでなく、里山整備や荒廃農地を見直

し緩衝帯づくりにも力を入れていくべきではないか。

A 緩衝帯などの整備にも補助事業がある。地域と一丸となって維持出来るように、働きかけていきたい。

その他の質問
・空き家対策について



田中 正信

「元気な高齢者社会」への取り組みについて

答弁 趣旨は理解できるので勉強したい

Q 村山市の65歳以上の高齢人口は、9100名で、全体の4割を占める。このままでは「支える人」と「支えられる人」とのバランスが崩れてしまう。高齢者の方にも、元気な人には働いてもらうことである。そのため、環境整備が急務である。シニアの方が働ける職場として次の3つを提案する。(1)一人暮らしの高齢者世帯を支える活動 (2)施設や幼稚園・学校などでの活動 (3)企業での単純な軽作業。これは時間制の有料(ポイント制)とし、市内の商店で買い物出来るようにする。人生100年時代、だれもが新しいことに挑戦できるそんな社会を目指し、市が先頭に立つて制度化や啓蒙活動に取り組ん

で頂きたい。

A 趣旨は理解できるが、大事業である。特に、取り組みの範囲をどうするか。またシニア人材センター・社会福祉協議会との調整も必要であり、今後

の課題として勉強したい。

その他の質問
・「バラ回廊ロード」東沢バラ公園「楯山」を線で結ぶ構想について
・空き家対策について



シニアの皆さんによる花壇の手入れ作業



小山 大地

SDGs推進に向けた

市のスタンスは

答弁 時代の要請に沿い、

みんなで育てていきたい

Q 改訂された学習指導要領によると、日本の子どもたちがSDGsを学ぶ機会は増える。村山市の子どもたちは、SDGsへの理解を深めるために、どのような教育を受け、どう学んでいくのか。

A 持続可能な社会の創り手となるべく、今後は全ての教科において、SDGsの視点を持つことが大切である。既に総合的な学習の時間でも取り組んでいる学校もあるため、一つの事例として他の学校に紹介するなどし、広めていきたい。

Q 子どもたちが国際的な目標を学ぶのに対し、村山市がSDGs推進に向けて取り組まない訳にはいかない。第五次総合計画には、SDGsの理念に沿った事業を展開する



SDGs(持続可能な開発目標)に取り組む企業・自治体は増えている



高橋 卯任

高齢者世代にこそ

支援が必要でないか

答弁 子どもを増やすことが

重要と考えている

Q 人口減少・少子化対策として「子育てスマイルプロジェクト」を重点に市政運営が行われているが、高齢者世代にこそ手厚い支援やサポートが必要と考えるがどうか。

Q 地方への移住に関心が高まっていると思うが、移住定住課を設置して積極的に推進してはどうか。
A 現在は、政策推進課の中のひとつの係で展開している。今後の動向を注視し、う

A 子どもを増やさないと将来の村山市が危ぶまれる。そこで「子育てスマイルプロジェクト」を市政運営全体の中の重点として挙げている。高齢者の方々に対して何もないと思われがちだが、実態として高齢者世代には、既に社会保障費の7割近くが使われている。今後ますます子どもが少なくなれば、小中学校の存続やまちの形態への影響が心配される。高齢者世代を放ってはいない。実態を正確に理解していただきたい。



移住・定住ハンドブック



中里 芳之

無症状者へのPCR検査を

答弁 勉強させていただく

Q 本県の新型コロナウイルス感染状況は「レベル4に近づき」、本市初の感染者も確認された。

A 感染を広げないために、無症状者への検査体制が必要ではないか。医療・福祉施設や保育園・学校などでの定期的な検査が必要ではないか。

A 本市や県内の状況をしながら勉強させていただく。国の包括支援交付金のできるので各事業所に伝達している。

Q 医療機関や介護事業所は受診控え・利用控えで経営困難になっているのではないか。状況を調査し財政支援を。

A 今のところ考えていない。

Q 個人農家向けの持続化給付金について

「コロナの影響がないとダメ」と思い込んでいる方が多いが、前農水大臣は「ほぼすべての農業者が対象」、「米の単作地帯でも給付金を受けやすい」と言っている。誤解がないよう宣伝し、一人でも多くの農家に給付金

が届くよう取組みを。個々の事業者の判断による。
Q 戦争と平和の伝承が困難になってきた。市の取組みを。
A (伝えるべき) 必要なものは残っていく。



北村山公立病院



海老名幸司

余暇開発公社の今後の対応について

答弁 来年度まで株式会社に移行して乗り切りたい

Q 新型コロナウイルスの影響で赤字経営が続いているクアハウスス拠点について今後どのように運営していくのか。

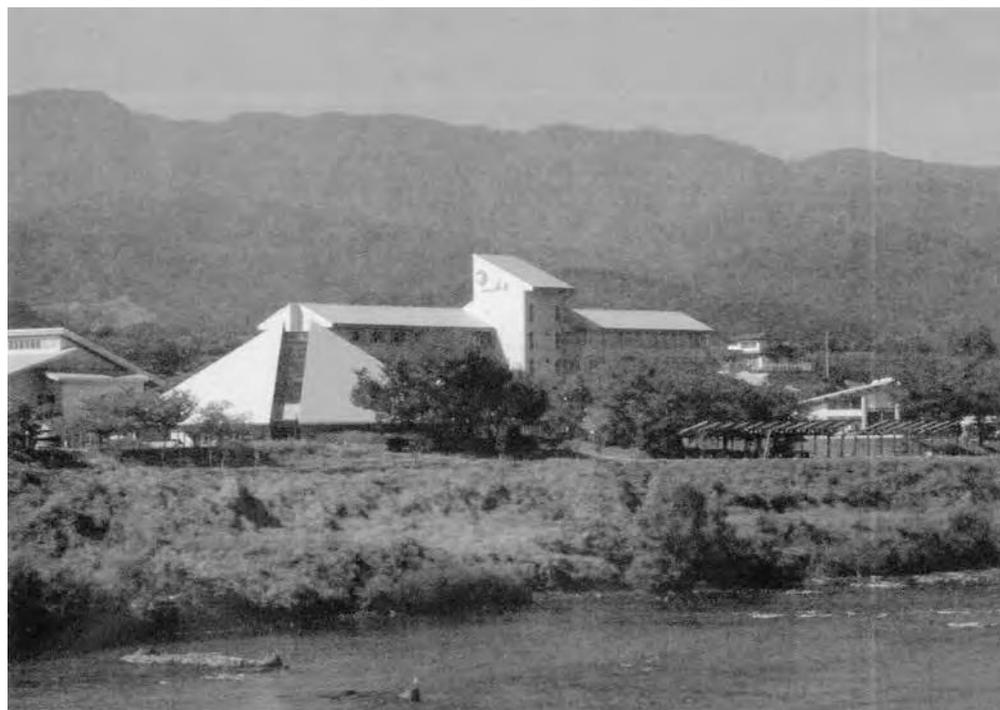
A 一般財団法人は2期連続で純資産の額が300万円未満となる。令和3年度まで株式会社に移行して乗り切りたいと考えている。

Q 株式会社に移行する場合、資本の額や株主募集、代表取締役など会社経営の骨格にかかわる部分はどうするのか。

A 今は何も決まっていないが、今後民間

のコンサルタントなどと相談しながら決めていきたいと考えている。

その他の質問
・河西地域の維持・存続について



クアハウス拠点

総務文教常任委員会
管内視察 10月8日

水道祭、下水道祭

旧幕井貯水池取水口の水の神様に感謝し、安全でおいしい水の安定供給を祈願しました。東新町にある下水道開通記念碑前で、生活環境の改善と水質の保全に資する下水道事業の安全を祈願しました。下水道は昭和62年から村山公共下水道として使用されています。



応急給水施設(戸沢配水池)の視察

その後、応急給水施設の一ヶ所である戸沢配水池(旧戸沢中学校跡地)を視察し、最後に庁舎内にある中央監視室を視察しました。

産業厚生常任委員会
管内視察 11月16日

林道湯舟沢五十沢線の視察



林道湯舟沢五十沢線の視察

平成27年度より進められてきた林道湯舟沢五十沢線総延長2497mが完成しました。今後は効率的な森林事業の推進が図られます。また集落間の連絡道路や災害時の迂回路としても利用されます。

大旦川排水機場

同施設内コンントロールセンターにて、職員の方から、7月豪雨時の対応などを、当時のデータ(大旦川水門の内水位・外水位やポンプ運転時間など)を

基に説明を受けました。全力で排水に努められていた事を知りましたが、同時に排水能力向上や遊水池の早期整備の必要性を感じてきました。

議会報研修会

11月12日

山形県市議会議長会、議会報研修会が尾花沢市の「サルナート」内コンベンションホールにて、県内13市の市議会報担当委員などが集い行われました。

講師に山形新聞社、尾花沢支社社長の玉虫秀明氏を迎え、「これからの議会報づくり」について講演が行われました。最近ではスマホの普及やネットメディアの発達で新聞離れが進んでいます。そんな中で読者が知りたいことを行えることが大切であり、これは議会報づくりにも言えます。写真、イラスト、余白を上手に使うと、読者に手に取って見ても

らうことが大切との講義を受けました。これからの議会だよりづくりに、大変参考になる研修会でした。



当市議会だよりへのレクチャー

共立衛生処理組合
議会 11月9日

令和2年度補正予算および市町負担金など4議案を可決しました。市町負担金は8億6203万円で、村山市負担金は1億3648万円となりました。

令和2年度7月豪雨による災害ごみが大量であったため、予定していた延命工事を遅らせ9月末までに、可燃

審議結果報告

(12月定例会において賛否の分かれた議案についてのみ記載しました)

議員名	議決結果	市政・公明クラブ										改革クラブ				無党派		賛成	反対	
		吉田 創	細矢 清隆	田中 正信	矢萩 浩次	高橋 菜穂子	秋葉 新一	海老名 幸司	石澤 祐一	大山 正弘	高橋 卯任	阿部 正任	犬飼 司	結城 正	菊池 貞好	小山 大地	中里 芳之			
市長提出議案 第97号	村山市スポーツ施設の指定管理者の指定について	可	○	○	○	○	欠	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	×	13	1
請願 第1号	国に対し「消費税5%以下への引き下げを求める意見書」の提出を求める請願について	否	×	×	×	×	欠	×	×	×	裁(×)	○	○	○	○	○	○	○	7	8

議長は可否同数の場合以外は採決に加わりません。

☐=可決 ☐=否決 ○=賛成 ×=反対 欠=欠席 退=退席 議=議長 裁=裁決

議会活動

- 10月
- 5日 議会だより編集委員会
議会運営委員会
- 8日 水道祭・下水道祭
- 9日 議会だより編集委員会
- 12日 市政・公明クラブ視察
- 14日 国道347号改良促進に係る要望活動
- 15日 議会だより編集委員会
- 18日 市長杯ゲートボール大会
- 20日 議会だより編集委員会
議会運営委員会
- 21日 全員協議会
本会議
総務文教常任委員会協議会
- 26日 県・市町村行政懇談会
- 27日 市政・公明クラブ視察
- 29日 そば感謝祭
日本・ブルガリア協会村山支部設立総会
共立衛生処理組合議会運営委員会
- 11月
- 2日 榑岡小学校校舎改築事業総合落成式
県男女共同参画社会づくり功労者知事表彰受賞青柳フチ子氏を祝う会
- 5日 全国市議会議長会理事会・評議員会
- 9日 総務文教常任委員会協議会
共立衛生処理組合議会全員協議会・定例会
- 10日 県市議会議長会第144回定期総会
タブレット導入検討部会
- 12日 議会報研修会
- 13日 北村山建設業協会要望
- 16日 産業厚生常任委員会協議会・管内視察
- 17日 総務文教常任委員会協議会
むらやまのどぶろく新酒お披露目試飲会
- 20日 活性化推進議員連盟役員会
全員協議会
- 21日 むらやま教育の集い
- 22日 松舞踊村山塾ミニミニ発表会
- 24日 議会運営委員会
議会だより編集委員会
国道347号改良促進に係る要望活動
やまがた美しい森林づくり推進大会
- 30日 全員協議会
本会議
活性化推進議員連盟総会
- 12月
- 2日 代表質問
- 3日 一般質問（～4日）
- 9日 常任委員会
- 11日 山形県林活議員連盟連絡協議会総会・研修会
- 14日 会派代表者会議
常任委員長会
議会運営委員会
- 16日 全員協議会
本会議
広域行政事務組合議会運営委員会
北村山公立病院組合議会正副議長議案内示・議会運営委員会
村山市商工会表彰式
タブレット導入検討部会
- 18日 市道駅西中央線開通式
- 19日 議会だより編集委員会
- 21日 グランピング施設完成説明会
- 22日 広域行政事務組合議会全員協議会・臨時会
- 23日 議会運営委員会
東北中央自動車道建設促進協議会要望
- 24日 議会だより編集委員会
北村山公立病院組合議会全員協議会・定例会

物543t、不燃物124tの処理を終えました。

北村山広域行政事務組合議会 12月22日

臨時会が村山市議場で開催され、本組合教育委員会の委員に、本多諭氏を再任し閉会しました。

同日、令和2年度、北村山教育会の表彰式が行なわれ、北村山教育賞を榑岡小学校合唱部、北村山教育奨励賞を葉山中学校3年の細谷大智君が受賞し、祝福を受けました。

北村山公立病院組合議会 12月24日

新型コロナウイルス感染症の影響による医療費収入の減少については感染拡大により外来・入院患者とも二割程度患者数が減少、8月以降回復し若干改善されたものの、第三波の到来により今後の予測が困難な状況で、国・県の財政支援や三市一町の負担金繰り上げ納付により現金不足は生じない見通しとなっています。

業務予定量・患者数の減少による補正予算

を承認し閉会しました。

市政・公明クラブ 行政視察 10月12日 Y-i-b-i-z(ワイビズ)

Y-i-b-i-z 山形市売上増進支援センターで



Y-i-b-i-zの視察

は、あらゆる業種のお店・中小企業の「売上を伸ばしたい」「新しいチャレンジをしたい」といった気持ちをサポートしています。相談は、完全予約制で1回1時間、何度でも無料で利用できます。相談が増えてきて、今は1〜2ヶ月待ちとのことでした。Y-i-b-i-zの特徴は、山形市および連携中都市圏内5市6町村の中小企業等の売り上げ増進と、雇用創出のための公的なビジネスコンサルティングセンターです。

10月27日 戸沢村立小中一貫校

4つの小学校と、2つの中学校がひとつの中小一貫校に統合されました。小学校では、少子化の影響で複式学級が増加し、中学校で



戸沢村立小中一貫校の視察

は、耐震診断で危険校舎と認定されたことから、「校舎一体型中小一貫教育」が実現されました。目的は、学習環境の規模を適正化し、確かな学力と豊かな人間性を育成することです。効果としては、大いに評価しており、特に小・中学校が目標を共有しお互いの交流の中で育成していくことは、子どもの発達の一貫性に大変意義あるとされていました。来年度から、「義務教育学校戸沢学園」として、新たな段階に進みます。



瀬古 智紹 さん
(富本)



～坐禅を日常生活に生かしてみませんか？～

『坐禅』とは、長時間微動だにせず座るものとイメージされる方が多いと思います。確かにそうですが、呼吸を整えて心静かに坐禅をすることで、揺れ動く自分の心を落ち着かせることができます。呼吸を整えて心を静かにすれば、形に捉われることなく、立派な坐禅になります。どんなに雑音がある場所であっても、いつでもどこでも坐禅はできます。

仕事や家事に追われる現代社会において、長時間座るのは贅沢な時間の使い方だと思います。5分でも1分でも短い時間でかまいません。社会の日常から少しだけ離れ、心静かに自分自身を振り返ってみる。自分自身と素直に話をしてみる。そして、

「ありのままの自分を素直に認めてあげる」

無理をし過ぎずに自然体で日々の生活を送る。不安定な今の世の中だからこそ、気持ちの休息が大切なのではないでしょうか。



〈表紙写真〉

12月25日、ふたば袖崎保育園においてクリスマス会が開催されました。園児は、歌やダンスを元気いっぱい披露し、サンタさんからのプレゼントには大喜びの様子でした。

◎ふたば袖崎保育園 園長：佐藤美紀 ☎ (58-2123)

入所児童の未来を生きる力を育むために、子どもとその保護者が安心感と信頼を持って利用できるように最善を尽くします。

また、家庭や地域との連携を大切にした運営の向上に努めます。

【園児数】……計33名

0～2歳児：13名 3歳～5歳児：20名



サンタさんと記念撮影

あ と が き

市民のみなさまに、「伝わる議会だより」を目指し、今回よりレイアウトを一部変更いたしました。ぜひ、みなさまのご意見をお聞かせください。(小山)

委員長 石澤 祐一
副委員長 犬飼 正司
委員 高橋 卯任
吉田 創
小山 大隆
細矢 清隆

議会のインターネット中継やっています

- ◎本会議だけでなく全ての会議が原則公開です。会議の予定はホームページなどでお知らせしますので、ぜひインターネット中継をご活用ください。
- ◎インターネット中継配信中 詳しくは、
<https://www.city.murayama.lg.jp/shisei/gikai/index.html>
村山市議会→議会中継
(ライブ中継・録画中継、外部リンクより)



↑携帯からは
コチラ